

2016年(平成28年)3月2日

**スポーツを通じて世界に翔ばたく逞しい人材を育成するスポーツチャレンジ助成事業
「スポーツチャレンジ(体験/研究)助成」「スポーツチャレンジNEXT」「国際スポーツ奨学金」
平成28年度(第10期生)計35件・総額3,147万円の助成を決定**

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(Yamaha Motor Foundation for Sports)では、平成28年度(第10期生)「スポーツチャレンジ(体験/研究)助成」、「スポーツチャレンジNEXT」、「国際スポーツ奨学金(海外留学生/外国人留学生)」の助成対象者および奨学生を決定いたしました。

平成28年度の助成金額は、「スポーツチャレンジ助成(体験/研究)」が27件・2,467万7,527円、「スポーツチャレンジNEXT」が4件・199万8,500円、「国際スポーツ奨学金」が4件・480万円(1年分)で、合計35件・総額3,147万6,027円です。なお、3月18日(金)にヤマハリゾートつま恋(静岡県掛川市満水2000)で「平成28年度(第10期生)助成金贈呈式」を開催し、活動期間は平成28年4月から平成29年3月です。

平成28年度(第10期生)助成概要 ※()内は合計に含まれる継続助成の件数

助成プログラム	申請件(人)数	採択件(人)数	助成金額(計)
スポーツチャレンジ体験助成	34件(7件)	12件(4件)	1,175万1,027円
スポーツチャレンジ研究助成	56件(6件)	15件(4件)	1,292万6,500円
スポーツチャレンジNEXT	6件	4件	199万8,500円
国際スポーツ奨学金(1年分)	10件	4件(2件*)	480万円
計	106件(13件)	35件(10件)	3,147万6,027円

※助成金額には平成27年度採択の国際スポーツ奨学金2年目の対象者(2名)に対する平成28年度の奨学金が含まれています。

「スポーツチャレンジ助成」「スポーツチャレンジNEXT」「国際スポーツ奨学金」概要

「スポーツチャレンジ助成」「スポーツチャレンジNEXT」「国際スポーツ奨学金」は、スポーツを通じて、世界に翔ばたく逞しい人材を育成することを目的とした助成金・奨学金の交付制度です。助成対象者は目標設定を行い、その活動に対する報告書の提出、報告会への参加など、PDCAサイクルを基調とした独自のサポートプログラムを通じてチャレンジャー(助成対象者)の成長を支援します。

「スポーツチャレンジ助成」には、基本助成として、アスリート、指導者、審判など、各種体験活動に対して助成金を交付する「体験助成」と、スポーツにかかわる学問、研究活動に対して助成金を交付する「研究助成」の2部門があります。また、継続助成も設定しており、1件あたりの助成金は100万円を上限とし、交付期間は1年間です。「スポーツチャレンジNEXT」は、次世代のアスリートを対象にした助成制度で、1件あたりの上限は50万円、交付期間は1年間です。「国際スポーツ奨学金」は、スポーツの普及・振興にかかわる学問・研究に取り組む国内外の留学生を対象とした奨学金制度で、奨学金は大学生、大学院生ともに10万円(月額)とし、給与期間は1年または2年間です。

■ この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください ■

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS) 事務局: 担当・石塚

〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500番地 Tel. 0538-32-9827 Fax. 0538-32-1112 <http://www.ymfs.jp>

平成 28 年度(第 10 期生)スポーツチャレンジ体験助成 対象者一覧 (平成 28 年 2 月 1 日現在)

基本助成			
氏名(年齢)	種目	チャレンジテーマ	所属
いけだ みきお 池田 樹生 (19)	陸上・短距離(障害者スポーツ)/選手	陸上短距離種目でのリオデジャネイロパラリンピック出場及び障害者スポーツの普及	中京大学
いしい しゅんべい 石井 駿平 (18)	自転車ロードレース(トラック)/選手	2020 年東京オリンピックへの挑戦～メジャー化に向け自転車競技で世界を相手に活躍できる選手になる!～	群馬県立前橋工業高等学校
うめつ ほるか 梅津 春香 (17)	フェンシング・フルーレ/選手	世界ジュニア選手権大会フルーレ種目で、日本人女子初の金メダル獲得への挑戦	帝京高等学校 JOC エリートアカデミー
きむら さえこ 木村 彩恵子 (25)	スノーボード/選手・指導者	カナダにおける最高レベルのスノーボード指導資格「CASI4」取得に向けた挑戦	北海道スキー連盟
つじ さえ 辻 沙絵 (21)	陸上・短距離(障害者スポーツ)/選手	競技転向を経て、陸上競技短距離種目において 2020 年東京パラリンピックでメダル獲得を目指す試み	日本体育大学
てばかり たける 手計 岳隆 (17)	スノーボードクロス/選手	冬季オリンピックでスノーボードクロス日本代表になりメダルを獲得する為に	日体荏原高等学校
ふじわら ひろし 藤原 祐志 (56)	馬術/競技役員	2020TOKYO に向け国際馬術連盟の総合馬術スチュワードレベル 1 の資格を取得し競技会運営に寄与する	アルパイン株式会社
ほそだ しょうたろう 細田 将太郎 (24)	スキー・ジャンプ/選手	スキー・ジャンプ競技でワールドカップ出場、2018 年のピョンチャンオリンピックでメダル獲得を目指して	北翔大学
継続助成			
やぎ あいり 八木 愛莉 (20) ※継続①	カヌー・カナディアンシングル/選手	東京五輪初オリンピック史上初のメダル獲得を目指して。カヌースラローム競技女子 C-1 本場欧州への挑戦	早稲田大学
うちやま まさたか 内山 雅貴 (20) ※継続②	自転車ロードレース(トラック)/選手	東京オリンピック自転車競技での代表選考・メダル獲得に向け、さらなる成長を求めてスプリント競技に挑戦	グローバル レーシングプロジェクト
みうら ゆうき 三浦 優希 (19) ※継続②	アイスホッケー/選手	常にエキストラリーグで活躍する選手となり、アイスホッケー日本代表を長野大会以来の五輪へ導く	日本放送協会学園高等学校
やなおか 柳岡 はるか (20) ※継続②	フェンシング・フルーレ/選手	2020 年のオリンピックでフェンシング日本人女子初の金メダルを獲得	法政大学

平成 28 年度(第 10 期生)スポーツチャレンジ NEXT 対象者一覧 (平成 28 年 2 月 1 日現在)

氏名(年齢)	種目	チャレンジテーマ	所属
うらがき ひかる 上垣 光 (16) ※連続	水泳(障害者スポーツ)/選手	2020 年東京パラリンピック競泳競技で金メダルを取るために本気の挑戦を積み重ねる	市川高等学校
かみはし けいしん 神箸 溪心 (15)	スヌーカー(ビリヤード)/選手	スヌーカー世界チャンピオンへの道 ～海外で武者修行を行い、競技力向上、スヌーカーの普及に貢献する～	名古屋市立守山中学校
ふるはた かいき 古畑 海生 (16) ※連続	水泳/選手	大好きな水泳競技で進化を遂げて未来の扉を開き、本気の挑戦でオリンピック選手になる!	市川高等学校
わかつき あらた 若月 新 (15)	スキー・アルペン/選手	アルペンスキーで、南半球のニュージーランドで行われる国際スキー連盟主催のスキー大会に初挑戦したい	北照高等学校

平成 28 年度(第 10 期生) スポーツチャレンジ研究助成 対象者一覧 (平成 28 年 2 月 1 日現在)

基本助成		
氏名	チャレンジテーマ	所属
いけど あおい 池戸 葵 (25)	女子アスリートの疲労骨折予防に向けたビタミン D 補給法の検討	立命館大学大学院 スポーツ健康科学研究科
おがわ てつや 小川 哲也 (37)	異なる速度のランニング動作を司る中枢神経機構の解明	東京大学大学院 総合文化研究科
こばやし ゆうじ 小林 雄志 (37)	瞬発的筋力発揮トレーニングとスロートレーニングを組み合わせた新規トレーニング手法の開発	熊本大学大学院 社会文化科学研究科
しん や まさひろ 進矢 正宏 (33)	球のキレの正体 一打者の予測誤差の観点から	東京大学大学院 総合文化研究科
たかくら ひさし 高倉 久志 (31)	持久的運動トレーニング効果を増強する運動実施タイミングの検討	同志社大学 スポーツ健康科学部
ひらおか ひろあき 平岡 拓晃 (30)	柔道選手の減量におけるコンディション評価方法の検討	筑波大学大学院 人間総合科学研究科
みうら あきと 三浦 哲都 (32)	トップアスリートのリズム感(リズムカルな環境情報への位相差生成能力)の計測	早稲田大学 スポーツ科学学術院
みずの たかまさ 水野 貴正 (33)	静的ストレッチングに電気刺激を組み合わせた筋力増強法の開発	名古屋大学 総合保健体育科学センター
はやし ようすけ 林 洋輔 (33)	「エクササイズ」概念の再解明:西洋哲学における「エグゼルシス Exercise」に着眼して	大阪教育大学 教育学部保健体育講座
まつだ たいき 松田 太希 (27)	スポーツ集団の暴力性に関する社会哲学的研究	広島大学大学院
むこうやま まさとし 向山 昌利 (40)	スポーツ・メガイブントが被災都市の復興戦略に及ぼす影響に関する研究:釜石市を事例として	びわこ学院大学 短期大学部ライフデザイン学科
継続助成		
ふじい けいすけ 藤井 慶輔 (29) ※継続①	バスケットボールの実際のゲーム中における動きの激しさの評価	名古屋大学 総合保健体育科学センター
ふじばやし のぶあき 藤林 献明 (31) ※継続①	2020 東京五輪において男子三段跳でのメダル獲得に挑戦するトップアスリート支援型研究	立命館大学 共通教育推進機構
ふくたに あつき 福谷 充輝 (33) ※継続②	タイチンの受動張力を活用した、高速動作時であっても大きな筋力を発揮する方法の探索	立命館大学 総合科学技術研究機構
わし や ようすけ 鷺谷 洋輔 (33) ※継続①	柔道道場にみる学習実践のフィルムエスノグラフィ	トロント大学大学院 エクササイズサイエンス研究科

平成 28 年度(第 10 期生) 国際スポーツ奨学金 対象者一覧 (平成 28 年 2 月 1 日現在)

海外留学生奨学金			
氏名	留学先	留学テーマ	所属
なかだ たかひろ 中田 貴央 (26)	オランダ	オランダの医学的な視点から、男子サッカー日本代表のワールドカップ優勝に貢献するための土台を築く	FC Den Bosch
せきぐち やすき 関口 泰樹 (24) ※平成 27 年度採択の 2 年目	アメリカ	スポーツコンディショニングの勉強・研究を行うのと同時に、トレーナーとしての実際の経験を大学院で積む	University of Arkansas
外国人留学生奨学金			
	国籍	留学テーマ	所属
キム ダユン 金 多允 (27)	韓国	下肢キネマティクスとランニング障害の発生の関連性	筑波大学大学院 人間総合科学研究科
フインク ジュリウス (33) ※平成 27 年度採択の 2 年目	ドイツ	レジスタンストレーニング(RT)によって分泌されるホルモンとアンドロゲン受容体が筋肥大に与える影響	日本体育大学大学院 健康科学・スポーツ医科学

ご参考

【 スポーツチャレンジ助成 助成対象者 属性 】

		体験助成	研究助成
申請件（人）数		34 件	56 件
採択件（人）数		12 件（男性 7 件・女性 5 件）	15 件（男性 14 件・女性 1 件）
年代別	10 代	5 件（41.7%）	0 件（0%）
	20 代	6 件（50.0%）	3 件（20.0%）
	30 代	0 件（0%）	11 件（73.3%）
	40 代	0 件（0%）	1 件（6.7%）
	50 代以上	1 件（8.3%）	0 件（0%）
平均年齢		23.0 歳	32.3 歳
その他属性		アスリート 10 件（83.4%） 指導者 1 件（8.3%） 競技役員 1 件（8.3%）	講師 4 件（26.7%） 助教・助手 5 件（33.3%） 大学院生 4 件（26.7%） 団体研究員 2 件（13.3%）

【 スポーツチャレンジ NEXT 申請者および助成対象者 】

申請件（人）数	6 件
採択件（人）数	4 件（男性 4 件・女性 0 件）／平均年齢： 15.5 歳

【 国際スポーツ奨学金 申請者および対象者 】

	海外留学生奨学金（日本人留学生）	外国人留学生奨学金
申請件（人）数	6 件	4 件
採択件（人）数	1 件（男性 1 件・女性 0 件）	1 件（男性 0 件、女性 1 件）